

第 2 1 回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<p>外環の 2 はいらないことがよくわかりました。</p>
2	<p>杉並区の都市計画提案につき、規則があるというが、いつ制定され、それを提案者にはじめにきちんと説明したのか。都市計画審議会における委員達はこれまでの外環の審議の経いを知っているのか。ネットワークの一部を廃止できないという委員は、練馬 3k の変更についてはどう考えるのか。</p> <p>杉並区が全線注視すべきという意見を、どう受けとったのか。</p> <p>委員も勉強不足ではないか。都が練馬でしたことと、杉並でしたことは整合性が見つからない。</p> <p>本線が地下化されたため外環の 2 は不要になったが、計画地をもし利用したいという希望があるなら、考えましょうというのが基本スタンス。都は地元の希望ではなく、都の希望を出しているのではないか。必要性だの整備効果など地元には要請されてから、はじめて出すものではないのか。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の都市計画審議会は形がい化していて、東京都の提案を粛々と承認するセレモニーといっても間違っていない。このような審議会の決定をお墨付きにするやり方は官僚、役人に都合だが根本的に誤っている。改革すべきである。 ・外環の 2 の練馬 3km のみが都市計画変更でもって事業化、優先路線というのは、一体的総合的に行う都市計画法に反している。
4	<p>行政側は事あるごとに“建築制限等で地元によく迷惑をかけていて申し訳ない”とか“できるだけ早く制限をなくしたい”とか云っているが、全く口先だけ。外環計画が始まったのは 1966 年。間もなく 50 年経つ。本線の地下化が決ってから 10 年近い。それなのに今頃になってまた地上部街路は要検討路線などと云って制限を続けているはおかしい。武蔵野市は話し合いの会の構成員、沿線住民、市議会ともに外環 2 に反対で、地元の意向は明白なのだから、さっさと外環 2 計画を撤回して建築制限を外すべきである。 (以上)</p>